

第2章 地域をとりまく現状と課題

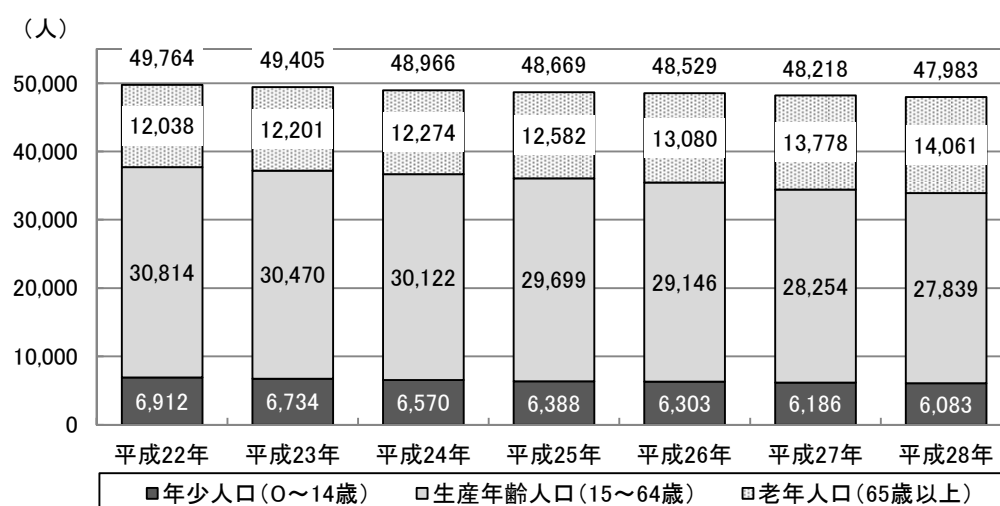
第1節 統計データからみる本市の現状

1. 人口の状況

(1) 総人口の推移

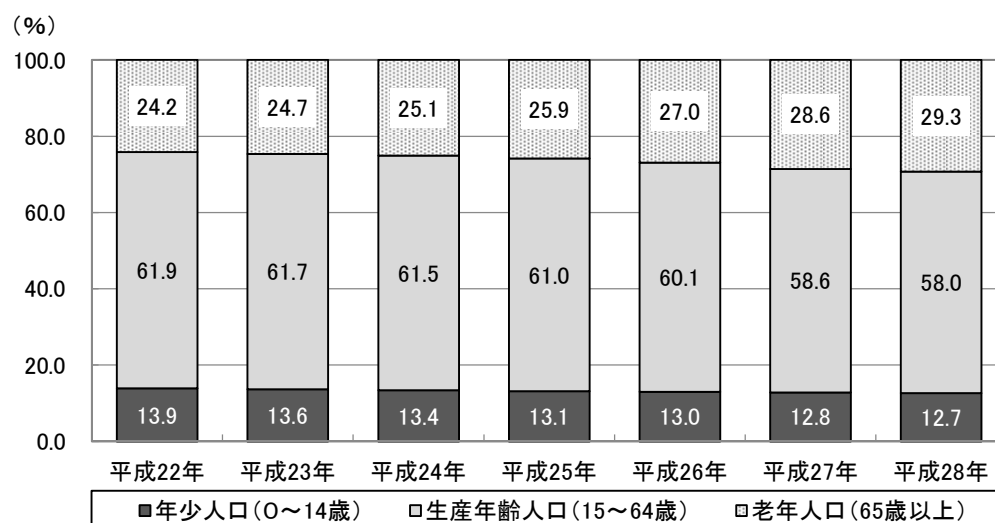
総人口は近年、緩やかに減少し続けています。年齢3区分別人口割合の推移をみると、年少人口割合、生産年齢人口割合が低下する一方で、老年人口割合は年々上昇しており、今後も継続して高齢化が進行していくと見込まれます。

■ 年齢3区分別人口の推移



資料：住民基本台帳※（平成22～26年4月1日、平成27、28年3月31日）
※平成22～26年は【国】提示値、平成27、28年は【市】公表値

■ 年齢3区分別人口割合の推移



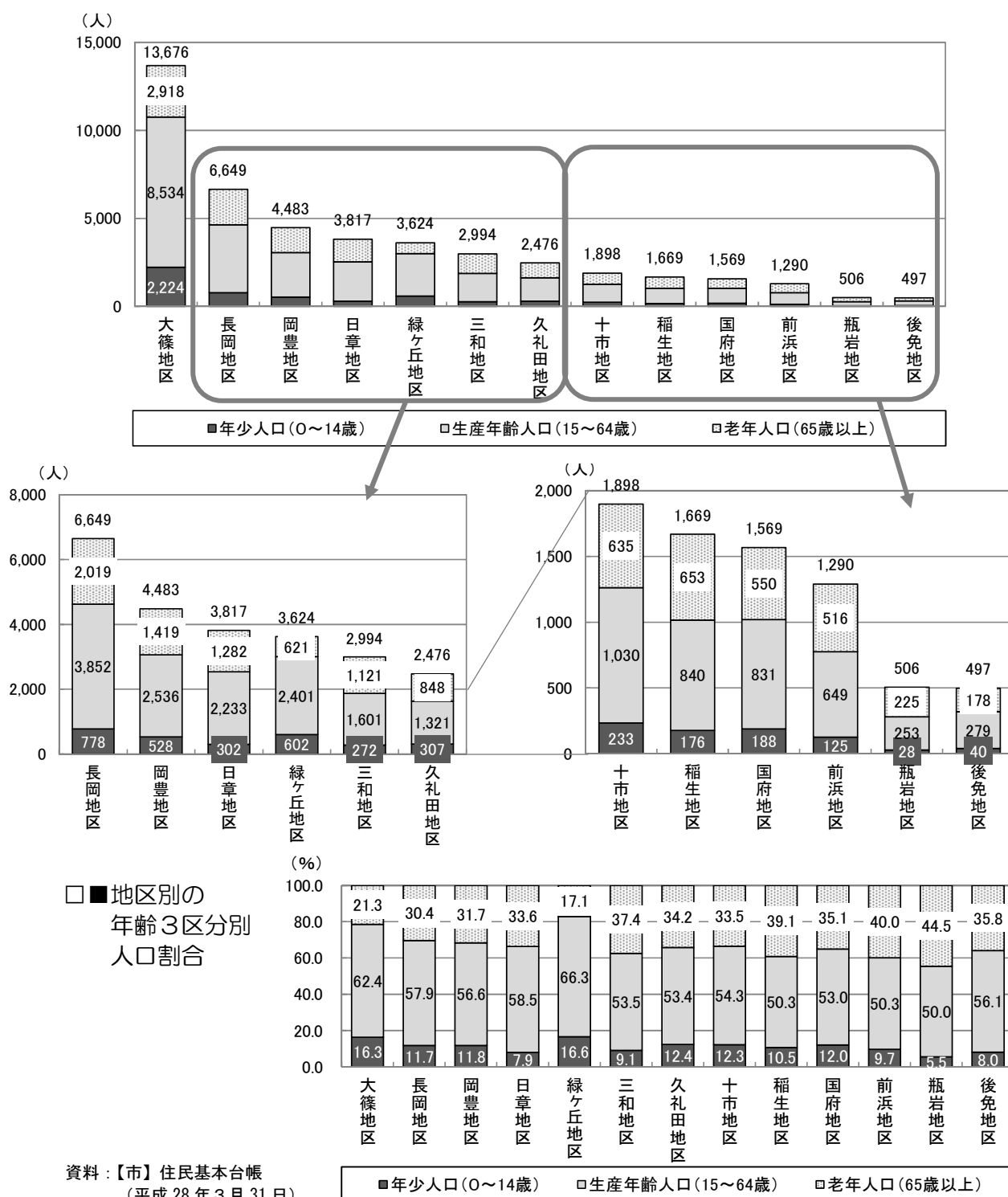
資料：住民基本台帳※（平成22～26年4月1日、平成27、28年3月31日）
※平成22～26年は【国】提示値、平成27、28年は【市】公表値

(2) 地区別の年齢3区分別人口

地区別の総人口をみると、大篠地区が13,676人ともっとも多く、次に多い長岡地区(6,649人)の倍以上、もっとも少ない後免地区(497人)では27倍以上となっています。

年齢3区分別にみると、年少人口割合は緑ヶ丘地区がもっとも高く、次いで大篠地区となっています。一方、老年人口割合は瓶岩地区がもっとも高く、次いで前浜地区となっており、両地区とも4割を超えています。

地区別の年齢3区分別人口



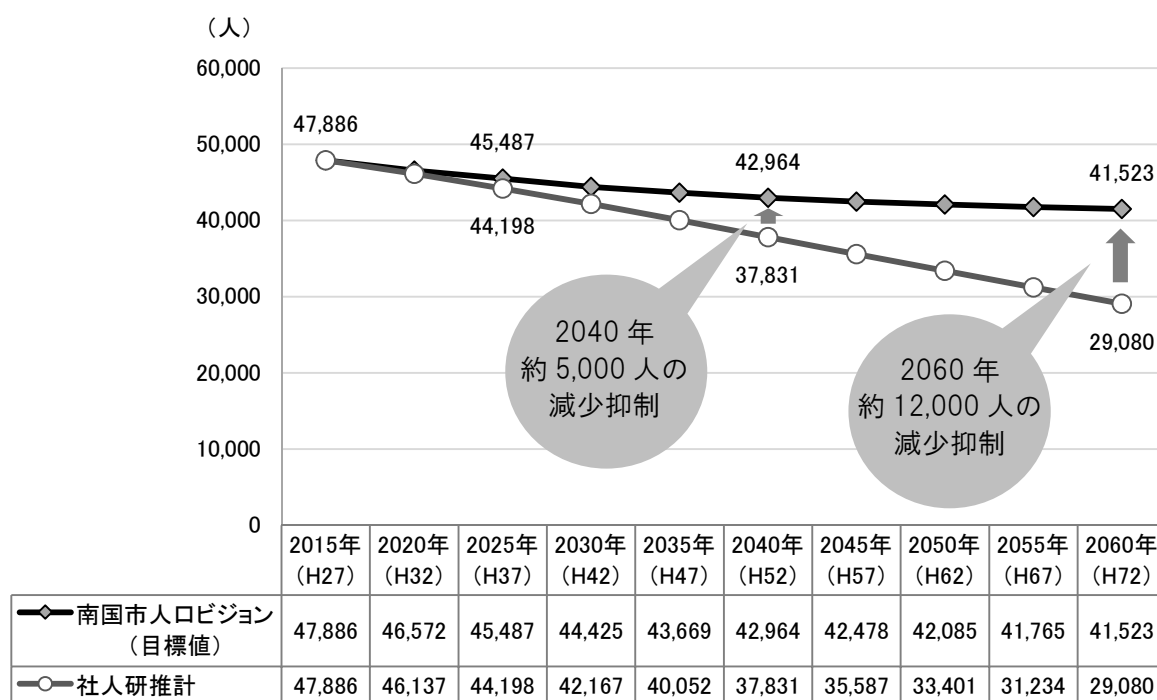
資料：【市】住民基本台帳
(平成28年3月31日)

(3) 総人口の推計

国立社会保障・人口問題研究所（以下、「社人研」という。）による推計をみると、今後本市の総人口は右肩下がり減少し、2025年には45,000人を、2040年には40,000人を下回る予測となっています。

南国市人口ビジョンの総人口目標値をみると、2040年で約5,000人、2060年で約12,000人の減少抑制を目指しており、2060年で41,500人を維持する目標となっています。

口■社人研による総人口推計と人口目標値



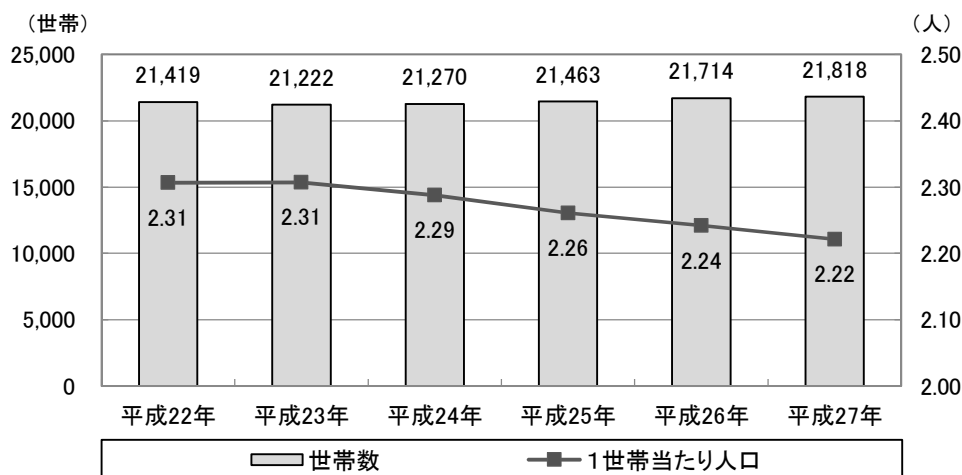
資料：南国市人口ビジョン

2. 世帯の状況

(1) 世帯数の推移

世帯数は年々増加する一方で、1世帯当たり人口は減少しており、平成27年には2.22人となっています。

□■世帯数と1世帯当たり人口の推移



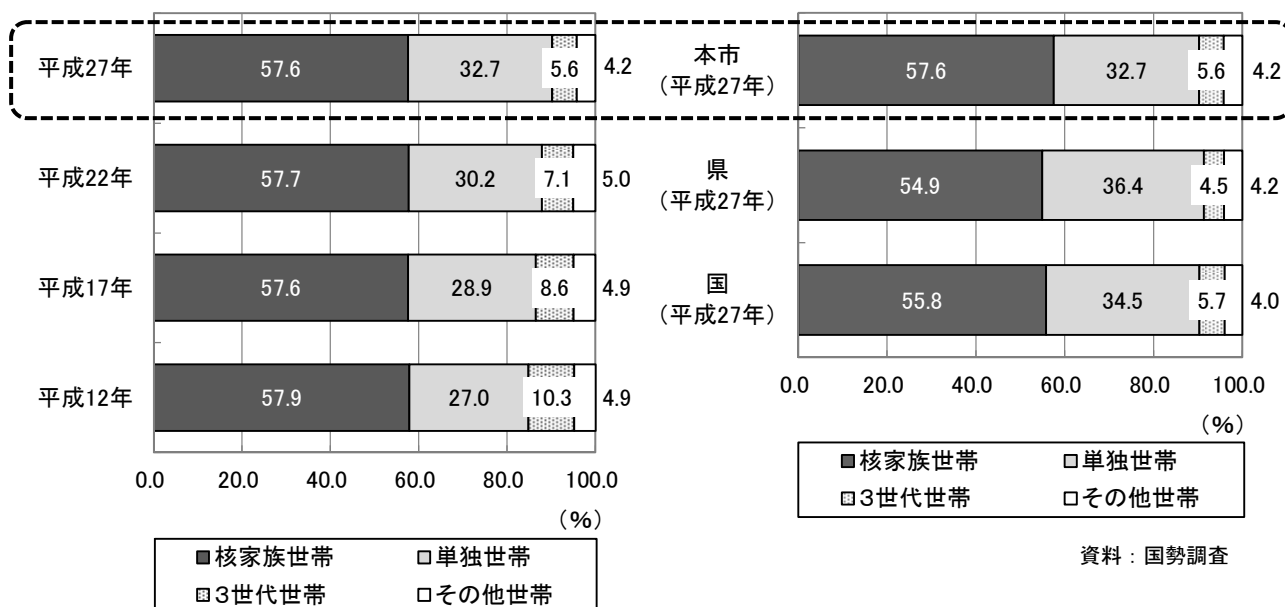
資料：【国】住民基本台帳（平成22～26年4月1日、平成27年1月1日）

(2) 世帯類型比率の推移と比較（国・県）

本市の世帯類型比率の推移をみると、単独世帯割合が上昇する一方で、3世代世帯割合が低下しています。国や県と比較すると、単独世帯割合は国や県より低くなっていますが、核家族世帯割合は高くなっています。

□■世帯類型比率の推移（本市）

□■世帯類型比率の比較（国・県）



資料：国勢調査

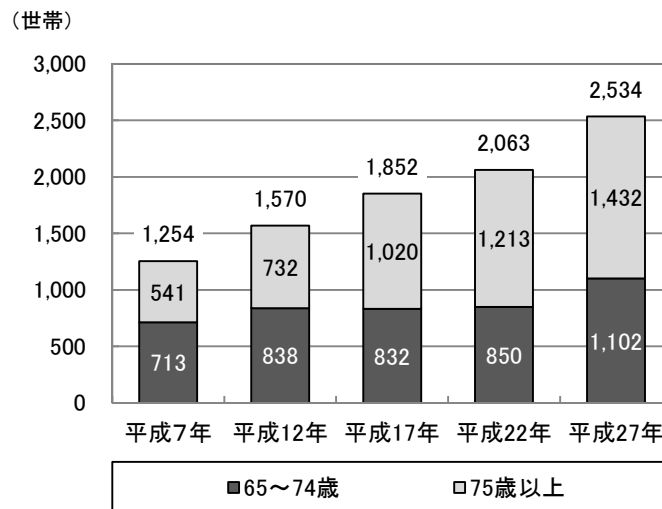
資料：国勢調査

3. 高齢者の状況

(1) 高齢者単独世帯数の推移

高齢者の単独世帯数は増加しています。65～74歳の単独世帯数をみると、平成27年に1,000世帯を超え、1,102世帯となっています。また、75歳以上の単独世帯数は、平成27年には平成7年の約2.6倍に増加し、1,432世帯となっています。

□■高齢者の単独世帯数の推移

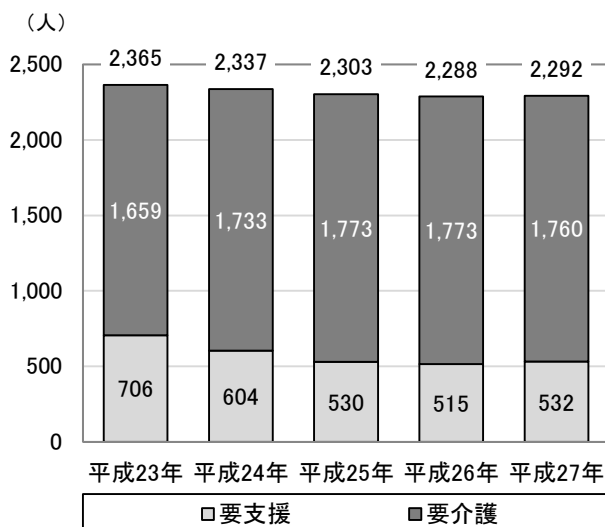


資料：国勢調査

(2) 要支援・要介護認定者数の推移

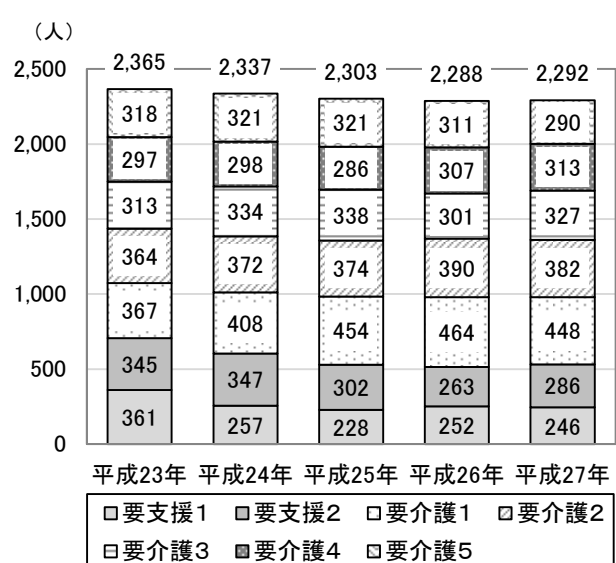
要支援認定者数は減少していましたが、平成27年に若干増加し、532人となっています。要介護認定者数はほぼ横ばいの状態ですが、依然1,700人を上回っています。

□■要支援・要介護別認定者数の推移



資料：南国市長寿支援課

□■要支援・要介護度別認定者数の推移



資料：南国市長寿支援課

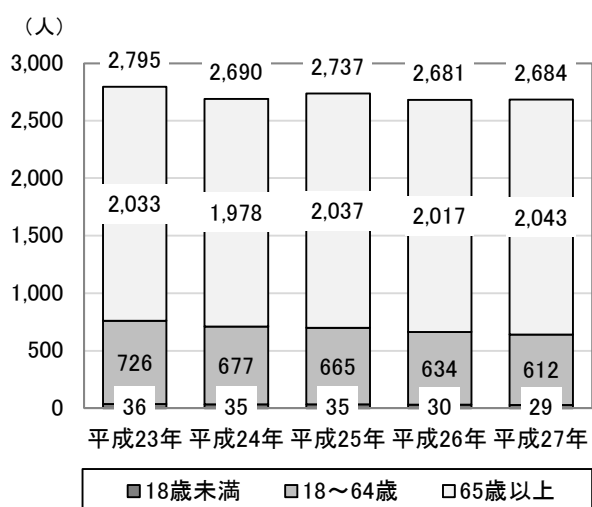
4. 障害のある人の状況

(1) 身体障害者手帳交付者数の推移

全体及び65歳以上においては、微増微減を繰り返していますが、18歳未満及び18～64歳においては、年々減少しています。階級別にみると、1級及び2級は減少傾向にあります。

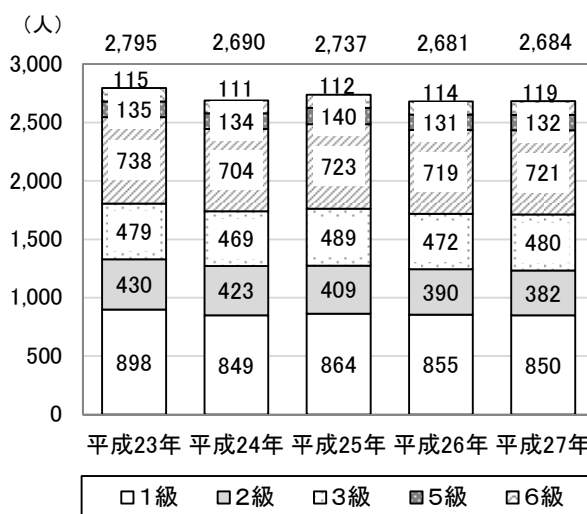
また、障害の種類別にみると、肢体不自由は減少傾向にあります。人数はもっとも多く、平成27年は1,377人となっています。

□ ■ 年齢別身体障害者手帳交付者数の推移



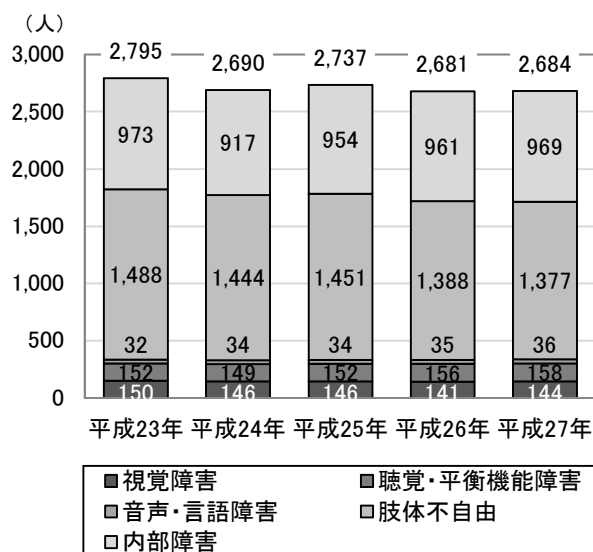
資料：南国市福祉事務所

□ ■ 階級別身体障害者手帳交付者数の推移



資料：南国市福祉事務所

□ ■ 障害種別身体障害者手帳交付者数の推移

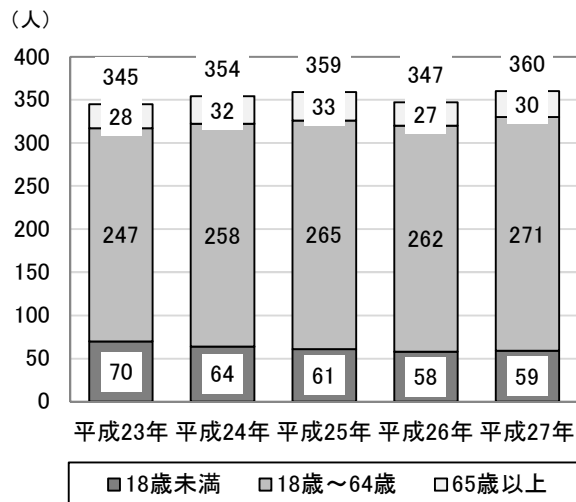


資料：南国市福祉事務所

(2) 療育手帳交付者数の推移

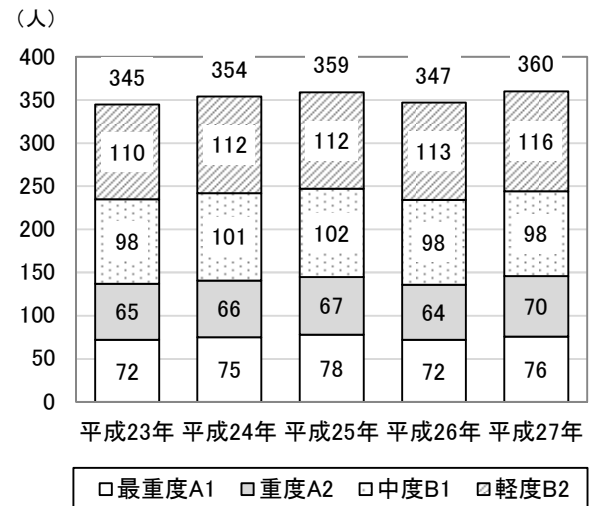
全体及び18歳以上においては、微増微減を繰り返していますが、18歳未満においては、減少傾向にあります。階級別にみると、全ての階級で微増微減を繰り返しています。

■ 年齢別療育手帳交付者数の推移



資料：南国市福祉事務所

■ 階級別療育手帳交付者数の推移

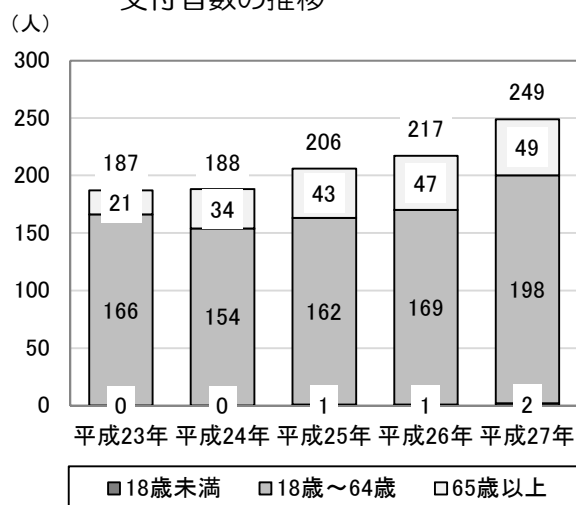


資料：南国市福祉事務所

(3) 精神障害者保健福祉手帳交付者数の推移

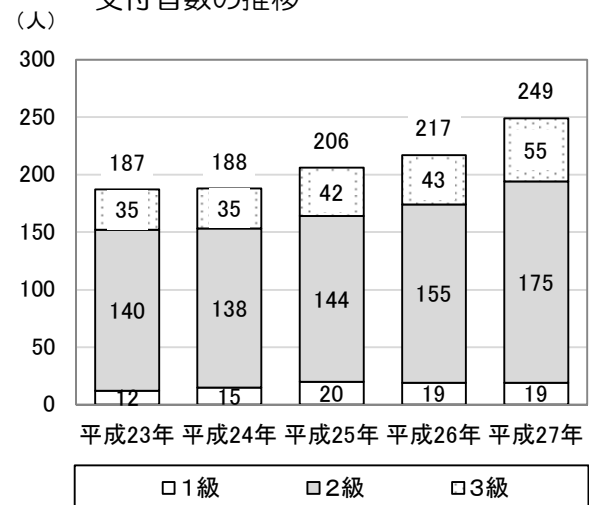
全体及び全ての年齢層において、増加傾向にあります。階級別にみると、2級がもっとも多く、平成27年には175人となっています。

■ 年齢別精神障害者保健福祉手帳交付者数の推移



資料：南国市福祉事務所

■ 階級別精神障害者保健福祉手帳交付者数の推移



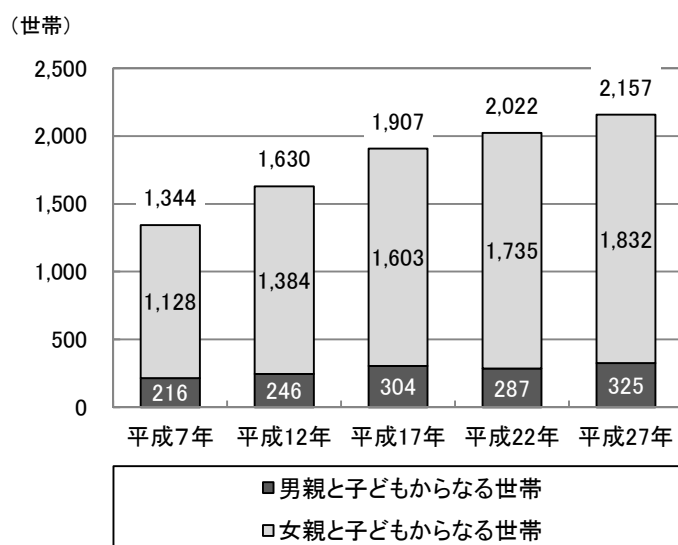
資料：南国市福祉事務所

5. その他、支援を要する人の状況

(1) ひとり親世帯数の推移

男親と子どもからなる世帯数は、平成22年に減少しましたが、平成27年には再び増加に転じています。女親と子どもからなる世帯数は年々増加しています。総数では、平成27年には平成7年の約1.6倍の2,157世帯となっています。

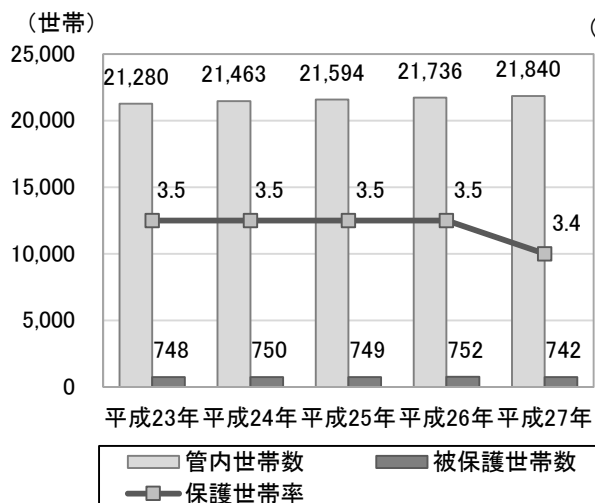
□■ひとり親世帯数の推移



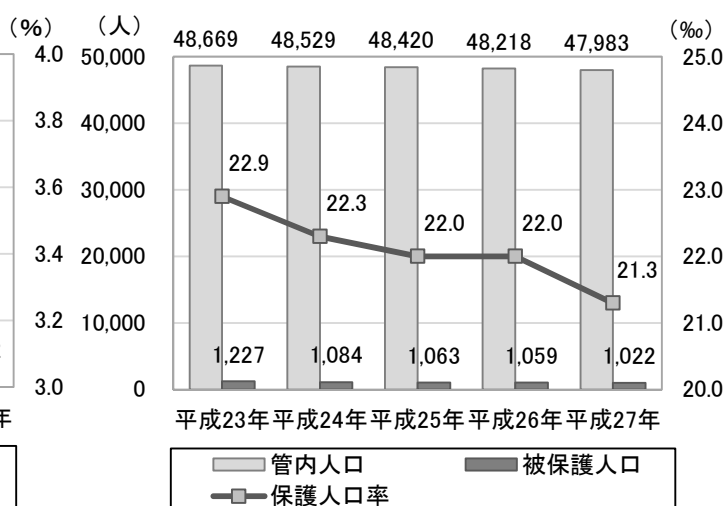
(2) 生活保護の保護世帯数の推移

被保護世帯数は微増微減を繰り返していますが、保護世帯率は平成27年に若干低下しています。被保護人口は年々減少しており、保護人口率も低下しています。

□■保護世帯数及び保護率の推移



□■保護人口及び保護率の推移



6. 地域の支援者の状況

民生委員・児童委員の状況

民生委員・児童委員は、平成28年12月1日に一斉改選されました。全地区において定員数は充足しており、総勢132人の委員が地区ごとの地域福祉推進に努めています。

そのうち、児童に関することを専門的に担当する主任児童委員は中学校区単位で配置されており、現在10人が活動しています。

□■民生委員・児童委員の状況

(単位：人)

(民生児童委員協議会による)地区割		地区	人数
上倉	北部	上倉地区	3
	南部		3
北陵東		瓶岩地区	4
		久礼田地区	8
		国府地区	4
岡豊		岡豊地区	10
長岡東部		長岡地区	6
長岡西部		長岡地区	9
後免野田		長岡地区	4
		後免地区	3
		野田地区	3
大篠		大篠地区	24
日章		岩村地区	3
		日章地区	7
大湊		日章地区	2
		前浜地区	5
三和		三和地区	8
稻生		稻生地区	6
十市		十市地区	5
		緑ヶ丘地区	5
総 数			122

□■主任児童委員の状況

(単位：人)

中学校区	人数
北陵中学校区	2
鳶ヶ池中学校区	2
香南中学校区	2
香長中学校区	4
総 数	10

資料：南国市福祉事務所（平成29年3月1日）

第2節 前回計画の評価

平成28年度までの「南国市地域福祉計画」及び「南国市地域福祉活動計画」の進捗状況について、取り組みの方向性ごとの評価を行いました。以下に結果の概要を示します。

南国市地域福祉計画

1. 地域支えあいづくりの推進

(1) 地域福祉を支える人づくり

社会福祉協議会や民生委員・児童委員と連携を密にし、活動における必要な人材育成を進めてきました。また、自主防災組織やサロン等の取り組みの中で、地域住民主体での人づくり、世話役づくりができています。進捗には地域差がみられます。

成果の出ている取り組み

- 南国市社会福祉協議会への支援及び連携
- 民生委員・児童委員との連携

成果が十分ではない取り組み

- 活動の中心となる世話役(リーダー)の育成

(2) 地域活動の拠点づくり

あったかふれあいセンター事業について、市の地域福祉推進の拠点として取り組みができています。学校教育においては、開かれた学校づくり推進委員会を設け、学校を地域活動の拠点とすることができました。また、公民館においては、地域とともに、幅広い世代に利用してもらうため、日々利用促進に努めています。

成果の出ている取り組み

- 保育所(園)、幼稚園、学校を核とした拠点づくり
- あったかふれあいセンターの充実
- ボランティア、NPO活動等への支援

成果が十分ではない取り組み

該当なし

(3) 地域福祉を促進するしくみづくり

社会福祉協議会や市内各種団体との連携を密にし、地域福祉を進めてきました。また、地域包括ケアシステム（前回計画表記：地域包括支援ネットワークシステム）の構築については、医師会と連携し、在宅医療と介護の連携事業を実施するために協議を行っています。

成果の出ている取り組み

- 南国市社会福祉協議会との連携強化
- 各種団体との連携強化
- 地域包括ケアシステム（地域包括支援ネットワークシステム）の構築

成果が十分ではない取り組み

該当なし

(4) 福祉意識の向上

福祉に関する情報については、広報紙や市ホームページ等を活用し、積極的に情報提供を行いました。新制度が導入された分野については、しおりやパンフレットを作成し、周知・啓発に努めました。各種団体との情報交換については、実施できている団体とできていない団体があるため、情報交換できる体制づくりが求められます。

成果の出ている取り組み

- 広報、啓発活動の推進

成果が十分ではない取り組み

- 各種団体との情報交換による相互関係の確立

(5) 職員による積極的な地域参加

ワークショップや座談会については、全地区での実施とはなりませんでした。開催希望のあった地区では実施支援ができました。地域行事への積極的な参加については、分野によっては積極的に参加できていますが、担当ではない事業に関しては関心が低い、参加しないなど、課題がみられます。

成果の出ている取り組み

- ワークショップ、座談会の実施支援

成果が十分ではない取り組み

- 地域行事への積極的な参加

2. 安心、安全のまちづくり

(1) 安心して生み育てられるしくみづくり

生活困窮世帯の中学生を対象とした学習支援や、医療費助成の年齢引き上げ（中学校卒業まで）等、子育てしやすいまちづくりを進めてきました。また、助産師・保健師や母子保健推進員による訪問や相談対応、子育て講座等を実施しています。学校と放課後児童クラブ・放課後子ども教室（前回計画表記：学童クラブ）については、十分に連携が図れているところもありますが、改善の余地があるところもあります。

成果の出ている取り組み

- 子育てしやすいまちづくり
- 地域での子育て支援体制

成果が十分ではない取り組み

- 保育所(園)、幼稚園、小学校、放課後児童クラブ（学童クラブ）等との連携強化

(2) 安心して暮らし続けられるまちづくり

ふれあい配食事業等、見守り活動への支援を実施してきました。自主防災組織は結成率が約93%となり、防災訓練等、地域の防災力向上に努めています。また、「高齢者教室」や「子育て支援教室」などへの出前防災学習を積極的に進めています。要配慮者台帳（前回計画表記：災害時要援護者台帳）の整備については、避難行動要支援者ごとの個別計画の作成と合わせ、台帳登録情報の活用が課題となっています。買い物支援は、あったかふれあいセンターで実施していますが、利用者の範囲など、より幅広い取り組みが求められます。

成果の出ている取り組み

- 見守り活動への支援
- 自主防災組織等への支援
- 要配慮者台帳（災害時要援護者台帳）の整備
- 防災、減災体制づくり

成果が十分ではない取り組み

- 要配慮者台帳（災害時要援護者台帳）の活用
- 買い物支援の取り組み

(3) 人にやさしいまちづくり

市内一斉清掃や海岸一斉清掃等、環境保全活動の啓発を実施してきました。学校教育においては、総合的な学習の時間や社会科等で、環境保全についての学習を行っています。また、住環境の整備では、篠原地区において、市街地内の快適でうるおいのある居住環境の形成に努めています。人にやさしいまちなみづくりについては、道路築造工事時の視覚障害者誘導ブロックの設置や段差解消等、ノーマライゼーション社会の推進に努めています。

成果の出ている取り組み

- 環境保全活動の啓発
- 住環境の整備の推進
- 人にやさしいまちなみづくりの推進

成果が十分ではない取り組み

該当なし

(4) 福祉サービスの適切な利用の促進

福祉サービスの情報提供については、ハートフルマップや相談支援事業所一覧を希望者に渡し、事業所の協力を得ながら、サービス等利用計画の普及につなげています。福祉サービスの質の向上については、地域ケア会議や研修により、ケアマネジャーやサービス事業所のスキルアップにつなげています。また、各分野においての相談対応・相談支援は実施できていますが、関連部署の連携等において、取り組みに課題がみられます。

成果の出ている取り組み

- 福祉サービス利用に関する情報提供の充実
- 福祉サービスの質の向上

成果が十分ではない取り組み

- 相談支援体制の充実

3. 健康づくり、生きがいづくりの推進

(1) 市民主体の健康づくり体制の充実

広報紙やチラシ、クーポン券を活用して受診勧奨を実施しましたが、特定健康診査の受診率や特定保健指導の実施率は目標値に達しませんでした。健康まつりや運動教室等、地域における健康づくり活動や介護予防事業は精力的に行われています。また、学校給食に地場産品を取り入れるなど、特色ある食育を推進してきました。地域医療については、医師会主催の地域連携勉強会への職員参加や、土佐長岡郡医師会内における地域包括ケア検討部会の設置等、医師会等との連携を深めながら進めています。

成果の出ている取り組み

- | | |
|-------------------|--------------|
| ○地域における健康づくり活動の支援 | ○食育の推進 |
| ○介護予防事業の推進 | ○地域医療体制の整備充実 |

成果が十分ではない取り組み

- 健康意識の向上・受診率向上に向けた取り組み

(2) 市民が参加しやすい生涯学習活動の整備

公民館におけるサークル活動については、市ホームページで紹介するなど、利用促進に努めています。さらに、講座の開催については、広報紙や県生涯学習支援センターのホームページに掲載するなど、積極的に情報の提供を行いました。また、総合型地域スポーツクラブの活動内容の分かるリーフレットを市内全戸に配布し、生涯スポーツ等に関する情報提供も行いました。

成果の出ている取り組み

- 各種研修・講座について情報提供の充実

成果が十分ではない取り組み

- 該当なし

(3) 就労、雇用の促進

市民への就労支援については、南国市地域雇用創出推進協議会や県と連携を図り、セミナーの実施や会社合同説明会等を積極的に行いました。高齢者の就労支援については、平成27年度から南国市シルバー人材センターが法人化され、加入者促進の取り組みを進めています。障害者の就労支援については、福祉就労は希望者のほぼ全員が通所できていますが、一般就労については、企業とのマッチングや障害への理解がまだ不十分なところもあり、希望者全員の就労には至っていません。

成果の出ている取り組み

- 市民への就労支援について
- 高齢者の就労支援について

成果が十分ではない取り組み

- 障害者の就労支援について

(4) 地域交流の推進

スポーツにおいては、さわやか健康ウォーキングや南国市市民体育大会において、世代間交流を図りながら健康増進の取り組みが実施できました。文化活動においては、南国市美術展や地区公民館における文化祭を開催し、生涯学習の推進と地域交流の促進に取り組みました。国際交流においては、南国市国際交流協会が主体となり、市内在住の外国人を支援するとともに、外国人との友好交流・親善活動等を実施しています。

成果の出ている取り組み

- 世代間交流の推進
- スポーツ、文化活動の充実
- 国際交流の推進

成果が十分ではない取り組み

該当なし

南国市地域福祉活動計画

「連」あいさつが飛び交う地域づくり

民生委員・児童委員を中心に、登下校の見守り時の声かけ等を行ってきましたが、取り組みは地区民協によって独自であり、実施程度は地区によって差があります。また、広報紙等を通じてあいさつの大切さを啓発してきましたが、周知方法等、まだ改善の余地があります。

成果の出ている取り組み

- 地域の人とあいさつをしましょう

成果が十分ではない取り組み

- 家庭内でのあいさつをしましょう
- 職場であいさつをしましょう

1. 「結」顔が見える地域づくり

保育所（園）や幼稚園の園児と一緒に独居高齢者等を訪問するなど、訪問事業は特に力を入れて行ってきました。また、各地域のサロン等における食事会や勉強会のイベント事業は、ボランティアも参加者も増えており、主要な地域交流の場となっています。しかしながら、地域座談会等は実施地域が限定されており、市内全地域には至っていません。

成果の出ている取り組み

- 各地域でのイベント起こし（食事会等）をしよう
- 地域内の独居高齢者等を訪問しよう
- 保育所（園）、幼稚園、学校を中心とした地域交流をしよう
- 防災グッズをつくってみよう。防災食をつくってみよう

成果が十分ではない取り組み

- 町内会活動に参加してみよう

2. 「絆」手と手をつなぐまちづくり

職員は地域の親睦会に積極的に参加し、地域との親睦を深め、交流の活性化に努めてきました。また、避難訓練等を通じ、地域内における関係づくりに取り組んできましたが、成果の面からみると課題があると言えます。

成果の出ている取り組み

- 親睦会（おきやく文化）に参加しよう
- 若者（子ども、働きざかり）とつながる関係づくりを積極的につくろう

成果が十分ではない取り組み

- 地域の避難訓練に参加しよう
- 非常時の連絡網を決めておこう

3. 「心」人と人とのつながりづくり

【子ども】については、民生委員・児童委員を中心に地域ごとで学校の登下校での見守り隊活動を実施しています。【高齢者・障害者】については、電話による定期的な見守りや、訪問等、積極的に行ってきました。【地域】については、地域座談会や話し合いの中で、地域のつながりの大切さを共有してきましたが、実施地域が限定されているのが現状です。

成果の出ている取り組み

- 【子ども】見守り隊、保護者と連携しよう
- 【子ども】登下校時に声かけをしよう
- 【高齢者・障害者】電話で見守りをしよう
- 【高齢者・障害者】「ときどき訪問」をしよう
- 【地域】近所同士で声をかけあおう
- 【地域】活動に参加できない人の見守りをしていこう

成果が十分ではない取り組み

- 【子ども】家庭内でのあいさつを大切にしよう
- 【地域】あいさつの日・ふれあいの日をつくろう
- 【地域】地域でつながりを大切にする意識づくりをしよう

4. 「場」みんなアが集える居場所づくり

公民館の活用や、ボランティア活動実施のための人材育成等を積極的に行ってきました。また、地域活性化のため、地域の祭り等のイベントを支援するとともに、あったかふれあいセンター事業を推進しています。祭りについては、時代に合わせて新しいイベントも立ち上がっており、伝統行事の継承も含め、地域ごとに方向性を検討する必要があります。

成果の出ている取り組み

- 地域の公民館を活用しよう（レクリエーション）
- ごみひろい運動（集落単位・月一回）をしてみよう
- あったかふれあいセンターに行ってみよう

成果が十分ではない取り組み

- ちょっとしたボランティア活動をしてみよう
- 地域の祭りを継続、復活させよう

5. 「健」心も！体も！健康に！

健康づくりについては、まほろばクラブ南国との連携のもと、様々な事業の中で取り入れ、積極的に推進しています。また、あったかふれあいセンターにおいて、地域主体で話す機会を設けて支援を行っていますが、地域によって偏りがあり、地域の実情に応じた取り組みが求められます。

成果の出ている取り組み

- 声をかけあって、わかガエる体操にみんなアで参加しよう
- 地域でクリーンウォーキングをしてみよう
- 地域でスポーツクラブをつくろう
- 積極的に検診を受けよう

成果が十分ではない取り組み

- 地域のことを話す機会をつくって参加してみよう

6. 「知」知って！知らせて！知人づくり！

フォーラム（講演会）や広報紙、SNS等を活用し、地域福祉やボランティアについて知ってもらう機会を積極的につくってきました。また、防災マップについては、避難場所や危険箇所だけでなく、避難行動要支援者の居宅等、発災時に活用できる「安全マップ」が必要であるため、平成28年度から取り組んでいます。

成果の出ている取り組み

- 小地域で防災等の勉強会を開催しよう
- 講演会等に誘いあって参加しよう

成果が十分ではない取り組み

- 安全な場所、危険な場所を知るために防災マップを作成しよう
- 地域の困りごとを地域で話しあおう

7. 「楽」スきなことを見つけよう！

あったかふれあいセンター等において、地域勉強会「よっし！」や「プチよっし！」を開催しています。同会では、『教えられる人（やれる人）』と『習いたい人（やりたい人）』のマッチングを行い、楽しんで学ぶ（教える）場を通じて、交流を推進してきました。しかしながら、参加者の固定化等の課題があり、効果的な活動の周知を進めていく必要があります。

成果の出ている取り組み

- 生きがいを感じることをを見つけよう
- 得意なことを活かした活動をしてみよう
- 人に喜んでもらう活動をしてみよう
- 共に喜びあえる活動をしよう

成果が十分ではない取り組み

- 情報をキャッチしよう

8. 「命」いのちの大切さ再発見！

日本赤十字社高知県支部と社会福祉協議会、本市との間で、発災時の日赤への応援要請等を定めた3者協定を締結し、平成28年12月にパイロット事業を実施しました。また、市内の販売店と協働で、防災グッズの講習会等を実施しました。

成果の出ている取り組み

- 実演を見ながらの講演会などに参加してみよう
- 誘いあって日ごろの訓練に参加してみよう

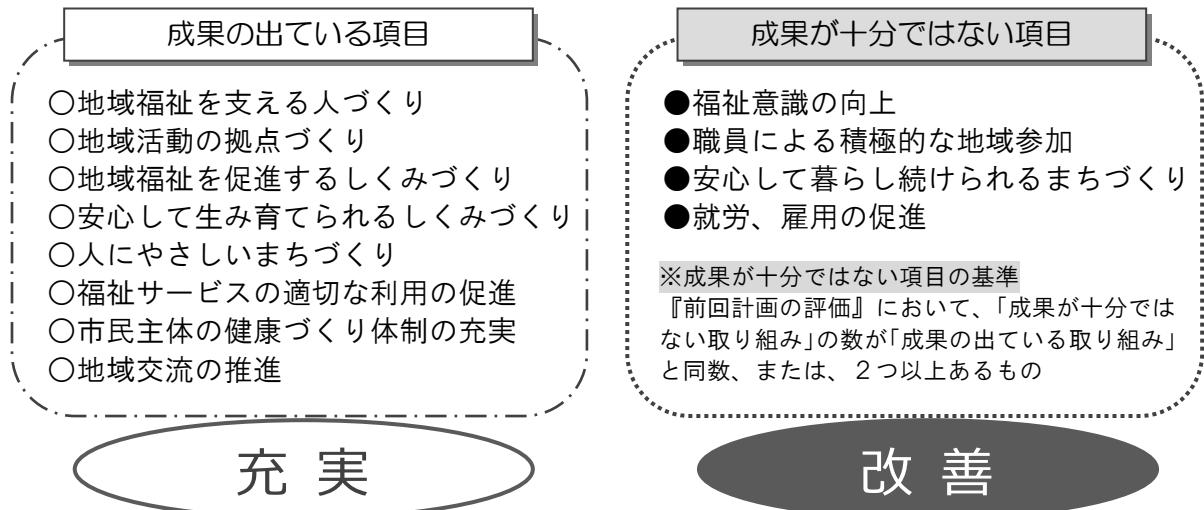
成果が十分ではない取り組み

- 防災グッズを備えておこう

第3節 前回計画の評価の反映

平成28年度までの「南国市地域福祉計画」及び「南国市地域福祉活動計画」の取り組みの評価について、以下のとおり反映し、本計画をより実情に応じて活用できる計画とします。

地域福祉計画



成果の出ている項目としては、地域福祉推進のための人や拠点、しくみづくりがあります。また、子どもや子育てに関する分野や、健康づくり、福祉サービスについても成果が出ており、これらをさらに充実していくことが必要です。

成果が十分ではない項目としては、職員を含めた市民の福祉意識の向上や、移動・外出支援を含めた安心できるまちづくり、就労支援等があります。

本計画において、福祉教育や体験イベントを拡充し、市民の福祉に対する意識の高揚を図るとともに、誰もが学びやすい環境の整備に努めます。

また、外出や買い物が不便な地域や人に対して、外出支援や移動販売等の支援の拡大を検討します。

就労、雇用に関しては、年齢や障害の有無に関わらず、就労を希望する全ての市民が仕事に就けるよう、関係機関と連携した支援を行います。

重点項目

- | | | | |
|-------------|---|-----------|----------------|
| ①市民の福祉意識の向上 | ⇒ | 基本目標4-1-1 | 活動の「見える化」の推進 |
| | | 基本目標4-1-2 | 地域福祉に対する意識の高揚 |
| ②福祉教育の充実 | ⇒ | 基本目標1-2-1 | 福祉教育の充実 |
| ③外出・買い物支援 | ⇒ | 基本目標2-2-2 | 移動・外出支援の強化 |
| ④就労・雇用の促進 | ⇒ | 基本目標2-3-2 | ニーズに応じた就労支援の充実 |

地域福祉活動計画

成果の出ている項目

- 「結」顔が見える地域づくり
- 「心」人と人とのつながりづくり
- 「場」みんなが集える居場所づくり
- 「健」心も！体も！健康に！
- 「楽」スキなことを見つけよう！
- 「命」いのちの大切さ再発見！

充 実

成果が十分ではない項目

- 「連」あいさつが飛び交う地域づくり
- 「絆」手と手をつなぐまちづくり
- 「知」知って！知らせて！知人づくり！

※成果が十分ではない項目の基準

『前回計画の評価』において、「成果が十分ではない取り組み」の数が「成果の出ている取り組み」より多い、または同数のもの

改 善

成果の出ている項目としては、人と人とのつながりづくりや集える居場所づくりがあります。また、生きがいや健康づくりに関する分野や、防災対策等についても成果が出ており、これらをさらに充実していく必要があります。

成果が十分ではない項目としては、あいさつが飛び交う地域づくりや、手と手をつなぐまちづくり、積極的な知人づくりがあります。

本計画において、家庭や職場等におけるあいさつの促進のための運動の展開を図るとともに、地域における連携のための体制づくりを進めます。

また、地域連携に関連して、地域における非常時の連絡網や防災マップの作成を地域住民との協働において進めます。

重 点 項 目

- | | | |
|----------------|---|--|
| ①地域連携のための体制づくり | ⇒ | テーマ1「結」顔が見える地域づくり
テーマ3「心」人と人とのつながりづくり
テーマ6「知」知って！知らせて！知人づくり！ |
| ②防災マップの作成 | ⇒ | テーマ8「命」いのちの大切さ再発見！ |